

命を守る政治。

元防衛・外務副大臣
衆議院議員候補

中山泰秀^{やすひで}

内閣総理大臣
自由民主党総裁

高市早苗



I ♥ OSAKA®
www.iloveosaka.jp



日本列島を、強く豊かに。

いざという時、本当に頼れる政治であるために。

物価高、治安不安、災害、国際情勢。

いま私たちは、先の見えない不安の中で暮らしています。
「何かあったら、どうなるのだろう？」

それが、いまの日本で暮らす多くの人の、
率直な実感ではないでしょうか。

01 | 暮らしを守る。まず、今日の食卓から。

「物価高で苦しい」今回の選挙で、最も多く聞かれる声です。
スーパーで値札を見て、「今日はこれをやめよう」と考える。
そんな場面が、いま当たり前になっています。働いている。節約
もしている。それでも苦しい。それは、あなたのせいではありません。
高市内閣は、実質賃金はプラス化する見通しである一方、食料
品の価格は高止まりするとしています。だからこそ、国民の手取
りを確実に増やす対策が必要です。

高市総理は、軽減税率が適用されている飲食料品について、
2年間に限り消費税の対象としない方針を明言しました。
私はこの決断が、生活者の負担軽減として確実に届くよう、
実行の先頭に立ちます。

02 | 治安を守る。孤立を生まない。

闇バイト、詐欺、身近な犯罪。
これは「自己責任」で済ませられる問題ではありません。
一度の判断ミスで、誰もが被害者にも、加害者にもなり得る。
国・自治体・警察が連携し、犯罪を未然に防ぐ対策を強化します。
孤独や孤立も、他人事ではありません。若者、子育て世代、高齢者。
一人で悩みを抱え込まない社会へ。
人と人がつながる、それを支えるのも、政治の役割です。

03 | 危機に強い経済を、未来へ。

世界は不安定さを増し、経済と安全保障は切り離せなくなっ
ています。エネルギー、食料、重要物資。災害に強い国土。
止まらないサプライチェーン。サイバー空間の安全。
平時も、緊急時も、社会を止めない。
未来への投資こそが、最大の安全保障です。

04 | 安心して学び、暮らせる日本へ。

教育の無償化を着実に進め、全世代型社会保障のもと、社会全体
で責任をもって支える仕組みを整えます。教育の質を高めるため
に、教える人が安心して誇りを持って働ける環境も整えます。
災害や有事に備えた国民保護体制。行政のデジタル化で、
日常の中でも誰もが迷わず支援を受けられる社会へ。
不安があるから、備える。備えがあるから、前へ進める。

05 | 外交と防衛。命と暮らしを守る力。

国際情勢の変化は、私たちの生活に直結しています。
理念だけでは、国は守れません。
経験と現実感覚が、最大の抑止力です。
同盟国・友好国との連携を強化し、法の支配と民主主義に基づ
く外交を進めます。
防衛力の整備、防衛産業基盤の強化、そして自衛隊員の処遇改善。
抑止力は、暮らしを守る力です。

06 | 子どもの命を守るために。少年法の現代化。

近年、SNSには「いじめの動画」と呼ばれる映像が数多く投稿
されています。水中に突き落とす。首を絞める。
それは、もはや「いじめ」ではありません。
一方で、SNSには、これまで見過ごされてきたいじめや暴力を
明るみに出し、社会の抑止力として機能してきた側面もあります。
実際、SNSがあったからこそ、救われた命や、是正された問題
もあります。
私は、SNSそのものを縛りたいとは思っていません。
善意の告発や注意喚起など、社会を守るための使い方は、これ
からも自由であるべきです。
しかし同時に、命を危険にさらす行為や、それを煽り、無秩序に
拡散する使い方には、はっきりとノーを言わなければなりません。
戦後の社会状況を前提に作られた少年法は、集団化・凶悪化、
そして暴力が拡散され、模倣され、被害が繰り返される現代の
構造に、十分対応できているとは言えません。
子どもの更生を重視する理念は、これからも守るべきです。
しかし同時に、被害者の命と尊厳を、最優先に守らなければなり
ません。
私は、子どもを罰したいのではありません。
二度と、命が奪われない社会にしたいのです。
生命に重大な危険を及ぼす行為は「いじめ」とは区別し、行為
の悪質性に応じた責任の在り方を明確にする。
少年法を、子どもたちの命を守る制度へと、現代化します。
守るべきは、制度ではありません。子どもたちの命と、未来です。

未来を縛らない政治へ。

人の命と日々の暮らしを守るために。

改革が必要です。しかし、壊してはいけないものがあります。
それは、人の命と、日々の暮らしです。
次の世代にツケを回さない。そのために、決める政治、動く政
治を実現します。正しそうな言葉より、実行できる覚悟を。

有権者の皆さまへ

いま日本は、「いざという時に、誰を信じるか」が問われています。
困ったとき、本当に届く政治か。命と暮らしを、守り切れる政治か。

その判断の先に、あなたの1票があります。


【信頼の実績】防衛・外交・危機対応の最前線で、国の責任を担ってきました。

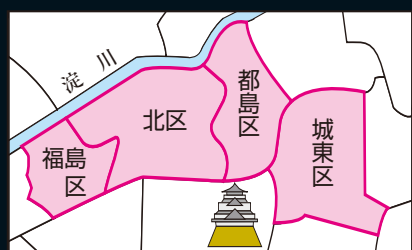


まかしなはれ！

【略歴】衆議院 当選5回 昭和45年10月14日大阪市北区生まれ **55歳** 大阪府第4選挙区

- 学 歴
追手門学院小学校卒業(94期生)
高校時代 フランスに3年間留学
成城大学 法学部 卒業
早稲田大学大学院 修了(修士)
平田竹男教授に師事
- プログラム
米国国務省招聘により IVP研修留学
イエール大学上級政治指導者育成プログラム 第1期生
- 職 歴
株式会社 FFRI セキュリティ 取締役
株式会社 電 通
総務庁長官秘書官 建設大臣秘書官
衆議院議員 小池百合子(元防衛大臣) 政策担当秘書
衆議院議員 中山正暉 政策担当秘書

- 政界における主な役職
防衛副大臣 内閣府副大臣
外務副大臣
衆議院外務委員長
シリアにおける邦人殺害テロ事件
現地対策本部長
高市早苗 自民党政調会長 特別補佐
拉致問題対策特別委員会 与党筆頭理事
安全保障、治安・テロ調査会副会長
外交部会長、国防部会長 等 歴任
- 高等学校教諭一種免許状(社会科)
学校法人 追手門学院 名誉理事・客員教授
米国プリガムヤング大学ハワイ校 客員教授
- ポストグローバルフォーラム日本・台湾代表
- 家 族
妻♥長女♥長男+  チワプー 1匹



《大阪事務所》〒530-0047
大阪市北区西天満4-4-12 ☎ 06-6363-0781
✉ office@iloveosaka.jp



YouTube
中山泰秀公式